

平成 29 年 4 月 28 日  
沖縄電力株式会社

## 平成 28 年度決算について

### 1. 販売の状況

平成28年度の販売電力量は、電灯需要については、お客さま数の増加に加え、気温が前年に比べ高めに推移したことによる需要増により、前年度に比べ5.5%増の31億15百万kWhとなりました。また、電力需要については、他事業者への契約切り替えの影響はあったものの、気温が前年に比べ高めに推移したことによる需要増などから、前年度に比べ0.1%増の46億98百万kWhとなりました。

この結果、電灯需要と電力需要の販売電力量合計は、前年度に比べ2.1%増の78億13百万kWhとなりました。

### 2. 収支の状況

平成28年度の収支の状況について、収入面では、電気事業において、販売電力量の増加があったものの、燃料費調整制度の影響により、売上高（営業収益）は前年度に比べ22億67百万円減（1.2%減）の1,799億97百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、修繕費が増加したものの、燃料費が減少したことから、営業費用は前年度に比べ41億54百万円減（2.4%減）の1,708億70百万円となりました。

この結果、営業利益は前年度に比べ18億87百万円増（26.1%増）の91億26百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は22億91百万円増（43.8%増）の75億21百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は18億69百万円増（51.3%増）の55億17百万円となりました。

なお、当社は、平成28年6月1日付で普通株式1株につき1.5株の割合をもって株式分割を行いました。当期の期末配当金については、1株あたり30円を株主総会にお諮りし、中間配当とあわせて1株当たり年間60円を予定しています。

### 3. 平成 29 年度の業績見通し

平成29年度の電力需要は、前年度に比べ3.7%減の75億25百万kWhを見込んでいます。

収入面については、電気事業において、燃料費調整制度の影響による電灯電力料の増加が見込まれることや、連結子会社において、外部向け売上高の増加が見込まれることから、売上高は前年度に比べ増加する見通しです。

一方、支出面については、電気事業において、燃料費や他社購入電力料の増加などが見込まれることや、連結子会社において費用の増加が見込まれることから、営業費用は前年度に比べ増加する見通しです。

このような状況から、平成29年度の業績については、売上高は1,942億円、営業利益は77億円、経常利益は62億円、親会社株主に帰属する当期純利益は46億円を見込んでいます。

別紙：決算の概要

以 上

## 【決算の概要】

## ■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成 27 年度 (実績)	平成 28 年度 (実績)	増減	増減率
電 灯	2,953	3,115	+162	+5.5%
電 力	4,696	4,698	+2	+0.1%
合 計	7,649	7,813	+164	+2.1%

## ■連結経営成績 (7年ぶりの減収増益)

(単位：百万円)

	平成 27 年度 (実績)	平成 28 年度 (実績)	増減	増減率
売 上 高	182,265	179,997	△2,267	△1.2%
営 業 利 益	7,239	9,126	+1,887	+26.1%
経 常 利 益	5,229	7,521	+2,291	+43.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,647	5,517	+1,869	+51.3%

## ■販売電力量見通し

(単位：百万 kWh)

	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 (見通し)	増減	増減率
電 灯	3,115	3,001	△114	△3.6%
電 力	4,698	4,523	△175	△3.7%
合 計	7,813	7,525	△288	△3.7%

## ■連結業績見通し (5年ぶりの増収減益の見込み)

(単位：百万円)

	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 (見通し)	増減	増減率
売 上 高	179,997	194,200	+14,202	+7.9%
営 業 利 益	9,126	7,700	△1,426	△15.6%
経 常 利 益	7,521	6,200	△1,321	△17.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,517	4,600	△917	△16.6%